

奄美新聞社ホームページ



[トップ](#)
[会社概要](#)
[企業理念](#)
[販売店](#)
[人気記事](#)
[イベント](#)
[関連企業](#)
[奄美の名店](#)
[郷友会](#)
[今日の記事](#)

2015.06.09

カテゴリ：ブログ

## 関東安陵会総会



肩を組んで応援歌をうたう池田秀秋会長、池田浩一校長、丸田卯禮男会長たち

### 2年後には70周年

#### 新会長に中川氏

【東京】2015年度「関東安陵会の総会と懇親会」（池田秀秋会長）が6日、上野公園内の「上野精養軒」で行われ、270余人が参加した。今年度は役員改選があり、次期会長に中川裕雄氏（19回卒）、幹事長に田代清和氏（26回卒）、監事に川崎末一氏（19回卒）がそれぞれ決まった。

同会は今年で68回目を迎える大島高校の最古参の同窓会組織で、2年後には70周年を迎える。

会の冒頭であいさつに立った池田秀秋会長は、「平成21年の総会で、英辰次郎会長の後、全員が戦後生まれという心もとない状況下での船出となったが、患原、中川両幹事長はじめ執行部各役員のご協力に支えられ3期6年を全うすることができました。今後は新しい執行部にこれまで以上のご支援をお願い申し上げます」と、感謝と新執行部へのさらなる協力を求めた。

この後、式次第になかったサプライズで、池田会長に丸田卯禮男本部安陵会会長からリュウキュウマツで作られた「感謝状」が手渡され、池田会長が目うるませながら謝意を伝えた。

また、亡くなった屋村優一郎前校長の後任の池田浩一校長が、「今年の生徒会のテーマは『そう奏』。サブテーマは『織りなす大島の旋律（ハーモニー）風に乗せ今こそ響かせる時』で、これまで積み重ねられた伝統や多くの朋友たちとの連携がテーマだったが、今年度はさらに大攻勢をかけて一人ひとりの個性を終結させ、そのエネルギーをもって大島に新たな風を巻き起こそうと意気込んでおり、745人の在校生と教職員62人一丸となって勉学・部活動・学校行事に取り組んでいる」とあいさつ、有為な人材育成にまい進していく決意を熱く語った。

さらに丸田本部安陵会会長は、教え子だった屋村前校長を悼み、「甲子園出場後、各方面からHPを立ち上げて支援活動と呼びかけてはとの意見が届き、開設することになった。ご支援、ご意見を頂きたい」と、新たな試みに意欲を示した。

一方で、31回卒同窓生一同で創った「チーム奄美自身」のメンバーである伊東さおりさんが壇上に立ち、ふるさと納税を呼びかけるなど新たな動きもあった。

懇親会では大吉平三氏（5回卒）が乾杯の音頭をとり、吹奏楽部OBORGの演奏で盛り上がった後、20回卒の柳田昌子さんの子女が勇壮な太鼓を叩くと、見事なバチさばきに大声援が送られた。また還暦組みの25回卒有志が懐かしいフォークソングを歌い、28回卒の原口このみさんが主宰する「伊是名の会」会員が琉球の踊りを披露、40回卒の福山奈穂美さんが「島育ち」の音楽によってフラメンコを踊り、それぞれ大いに会場をわかせた。最後は島唄と六調、安陵数え歌で全員が輪をつくり、上は93歳から下は25歳までが肩を組み合いながら高校時代に戻ったような笑顔で交流し、大盛況のうちに閉会した。

  いいね!  40

[← 前の記事](#)

[次の記事 →](#)

## コメント

タイトル:

お名前:

認証コード **2162**

コメント:

↑  
↓

コメントは管理者の承認後に表示されます。

[コメントする](#)

[↑ページのトップへ / トップ](#)

Copyright © 2015 奄美新聞社 All Rights Reserved.  
 鹿児島県奄美市名瀬港町16番11号, 0997-53-6333

powered by **Quick Homepage Maker 4.91**  
 based on PukiWiki 1.4.7 License is GPL. QHM

